

イルデフォンソ・パドゥーJr.

フィリピン運輸通信省 次官補



私は、フィリピンのパンパンガ州バコロールにて生まれましたが、育ったのは同国のセブ市です。同市にあるビサヤ大学で土木工学を専攻し、1979年に学士課程を修了しました。後に、同大学の経営工学の修士課程に進み、1997年に同課程を修了しました。配偶者の名前はアネット・コルテスで、子どもが5人います。

1980年1月、私は都市上水道&下水道局のMWSP IIプロジェクトのプロジェクト監督者/材料技術者として雇用され、自分のキャリアをスタートさせました。1982年5月には、同局において主席エンジニア「G」に昇進しました。1983年7月、私は公共事業・道路省（DPWH）に異動となり様々な役職を歴任し、1985年12月まではサンボアング漁港の材料試験監督技師を務め、1986年7月から1993年6月まではルセナ漁港プロジェクトの主席土木技師を務めました。

1993年には運輸通信省（DOTC）での仕事が正式に始まりましたが、このとき、当時DPWHにより扱われていた漁港プロジェクトをDOTCが引き継ぐことになり、私はダバオ漁港のプロジェクト管理者に任命されました。1995年1月には、私のキャリアに転機が訪れました。このとき、私はマクタン・セブ国際空港開発プロジェクトのプロジェクト管理者に任命されたのでした。およそ12年間にわたり港に関連したプロジェクトに携わってきましたが、空港に関連した仕事に就くのは初めてでした。以降、私は、ダバオ国際空港開発プロジェクトやラギンディガン国際空港開発プロジェクトといった、外国の支援のもとに行われた空港プロジェクトの管理者を務めてきました。

2013年10月、私はDOTCの運輸計画サービスの第三監督者に任命され、2010年7月までこの役職を務めました。現在、プロジェクト管理補佐の肩書を持っています。

私は今、フィリピン大学の技術基金カレッジの評議員会のメンバーでもあります。さらに、ASEAN上級交通当局者会議では、フィリピンのSTOM指導者に任命されています。